

**第5回 第二種免許制度等の在り方に関する有識者会議
議事概要**

1 開催日時

平成30年12月21日(金) 13:00~15:40

2 開催場所

三田共用会議所 第2特別会議室

3 出席者

(1) 有識者委員

宇佐川 邦子	株式会社リクルートジョブズジョブズリサーチセンター長
大久保 堯夫	日本大学名誉教授
川本 哲郎	同志社大学法学部教授
瀬川 誠	株式会社山城自動車教習所交通教育センター長
高橋 信行	國學院大学法学部教授
中井 宏	大阪大学人間科学研究科准教授
藤田 悟郎	科学警察研究所交通科学部付主任研究官

(2) 警察庁

早川 智之	交通局運転免許課長
-------	-----------

(3) 関係省

山腰 俊博	国土交通省自動車局安全政策課長
金指 和彦	国土交通省自動車局旅客課長

4 議事概要

(1) 開会

(2) 議事

ア 事務局説明

事務局から資料に基づき説明。

イ 自由討議①(提言の構成及び年齢要件の見直しの適否等について)

(ア) 年齢要件で担保している資質について

○ 年齢要件で担保している資質を、精神的な部分に着目して自己制御能力を中心とした整理を行うことは良いが、自己制御能力の内容を運転行動と関連させて少し具体化しておくことが必要ではないか。

(イ) 年齢要件を特例的に引き下げる教育について

○ 年齢要件を引き下げる教育を行う自動車教習所や、若年者を採用する事業者のレベル・アップを図るとともに、当該教育を行う教習指導員の能力の向上も図るべきではないか。

○ 教育には、時間的制約等から生じるプレッシャーへの対応等に関する内容を取り入れるべきである。また、教育の効果の評価に当たっては、そのような精神的な部分を運転行動と関連付けて評価するべきではないか。

○ 一定の検証を行い、安全性が確保されることを示す必要があることを前提として、受験資格を特例的に引き下げたことによって、旅客自動車の運転者の高齢化に歯止めがかかり、中長期的な視点で見ても旅客自動車の安全性が向上することを示すことができれば良いのではないか。

ウ 自由討議②（旅客自動車の安全対策及び今後の課題について）

- 初心運転者期間類似の制度の導入は、受験資格の引下げと関連させて検討すべきであり、その具体的な内容について引き続き検討していく必要がある。
- 有識者会議で検討してきた第二種免許制度の今後の在り方が、旅客自動車の安全性の向上に結び付くという前向きなものとなれば、幅広い社会的理解を得ることができるのではないか。

(以上)